

No.589

2023.10.16

KINZOKU DANCHI NEWS Since1974

# 金属団地ニュース

60th





# 9月度月例会開催

9月19日(月)正午より組合研修センター3階集会室にて9月度月例会を開催しました。

岐阜県が推進している企業内家庭教育研修を実施し、日本ほめる達人協会認定講師 高橋 恵美 様をお招きして「企業も家庭も元気になれる！今、しておきたいほめ効果」と題して、従業員育成や家庭円満についてお話いただきました。

職場や家庭で円滑にコミュニケーションを図れているでしょうか。ついつい相手の欠点ばかりが目についてしまい、自分自身が疲弊してしまっていないでしょうか。

短所と長所は表裏一体であり視点を換え、長所をたくさん見つけられるように広い視野を持つことが大事ではないでしょうか。

ほめるということは相手にとっても自分にとってもまた周りに対してもよい影響を与えます。ほめると言うことを改めて理解し、相手に対して可能性と成長を信じ、ほめてみようという前向きな気持ちになれる研修会でした。



## 消防訓練実施

金属団地自衛消防隊による消防訓練を9月27日(水)正午より、(株)樋口製作所敷地内にある防火水槽を使って実施しました。

今回は比較的交通量も多く、20mの消防用ホース4本使う場面もあり、暑さもまだまだ厳しい中での訓練でしたが必要な人員の把握、連携強化に繋がりました。また新しい隊員として組合職員から一名加わりました。今後も訓練の充実に努めてまいります。



## 衛生週間準備パトロール

9月20日(水)に、全国衛生週間に先駆け衛生週間準備パトロールが行われました。

集合場所に各事業場の担当者が集まり、パトロールの巡回順、パトロールの留意点等の打合せを行い衛生週間点検表、ヘルメット、腕章を身につけ、パトロールを開始しました。

点検表に従い、工場内及びトイレや食堂など清掃は行き届いているか、ポスターの掲示や、ワッペンの着用、有資格者の表示等の項目を限られた時間の中で点検しました。

全国衛生週間は労働衛生に関する意識を高揚させ、事業場の自主的な労働衛生管理活動の推進を通じて労働者の健康確保に大きな役割を果たすことを目的としています。

全国における過労死等事案の労災認定件数は高止まりしており、長時間労働による健康障害防止対策を推進するとともに、精神障害による労災認定が増加している状況を踏まえさらにメンタルヘルス対策を強化していく必要もあります。

このパトロールを通じて本週間までに改善すべき所は改善し、労働衛生管理活動の一層の促進を図っていきます。



## 可変要素

数年前から趣味でテナーサクスを吹いている。キャリア数年なら結構吹けるんじゃないかと御想像されるかと思うが、現実はその甘くないものではなく、ブーピーピー鳴らすのがやっとなのである。これは演奏の練習よりも、音色の探求へと興味が向かってしまう私の性格に大いに問題がある事は御指摘を受けなくても、本人が一番良く分かっている。

サクスの音色は様々な要素によって決まる。管体の材質、メッキの種類、マウスピースの形状・材質、リードの形状・材質、息の強弱、そしてなんととってもアンブシュア(吹く時の口、喉の形)。これらが互いに複雑に影響し合っ出てくる音色が決定する。そして自分が目指す憧れのミュージシャンのあの音色に近づこうと、練習そっちのけで何十種類もリードを試したり、削ったり、マウスピースを変えてみたり色々試してみるののである。(でも結局は練習あるのみと気付く)

これがエレキギターになると、ギター本体の形状・材質から始まって、弦、ピック、ピックアップ、アンプ、アンプ内の真空管、各種エフェクター、そしてそれらをつなぐケーブルなどがあり、さらに、ずらっと並んだツマミまである。なんと可変要素の多いことか。

そして近頃ではこれらの機器をデジタル化したアンプシミュレーターなるものが出ている。多数のアンプ、スピーカー、エフェクター、そしてなんとアンプの真空管や、スピーカーから音を拾うマイクまで何種類もの銘柄のデータが入っていて、それらをパソコンの画面上で選択、配置、接続、交換し、各機器のツマミを調整して音づくりをしていくのだ。一度始めると気付いた時にはもう空が明るくなっていて・・・やがてもう何をどう調整していいのかわからなくなり、ずぶずぶと沼にはまってゆくというような代物で、その可変要素の多さにはもうお手上げである。

人間にも日々いろんな可変要素が影響し、良くも悪くも外面や内面を様々に変化させてゆく。それはひょっとしたら、アンプシミュレーターの比ではないくらい多くの可変要素があるかもしれない。今朝食べたごはん。昨日飲んだお酒。数年前まで吸っていた煙草。若い頃にバイクで転倒した古傷。昔、学生時代に読んで感動した本。あの時、涙を流した名曲。そして毎日欠かすことのないおやつ(これはヤメラレマセン)。

人の変化とギターの音色の変化で一番違うことは、我々には履歴(経験)が残るということである。ギターは各要素のパラメーターを元に戻したり、エフェクターのスイッチをオフにすれば変化前の状態に容易に戻ることができる。しかし人は今日煙草を止めても、明日からおやつを絶っても、なかなか元に戻ることはできずに、前に受けた影響を引きずってしまう。今ではこの寂しい頭皮、ふくよかな腹囲にその影響がしっかりと現れてしまっている。逆に、良い本や美しい音楽は、私の心に光を与えてくれる。



だから、日々口にするもの、目に映すもの、耳にするもの、触れるもの、感じるものを慎重に選ばなくてははいけない。

先日ソプラノサクスを手に入れた。シルエットも良く、光輝いてとても美しい。音色も触感もすこぶる良い。

「まだテナーもまともに吹けないのに!」などという雑音は絶対この耳には入れないこととする。



### 副理事長と語る会

8月26日(土)、宮房にて森田副理事長をお招きして副理事長と語る会を開催いたしました。コロナ禍ではこのような会を開催することが叶わず、本当に久しぶりに開催させていただきました。

今回は、組合でも特別委員会を立ち上げて取り組んでいる「カーボンニュートラル」と「C棟跡地利用」をテーマとして掲げました。何故このテーマにしたかというところ…。青年部では毎月情報交換会を行っていますが、その会の中で「カーボンニュートラルにしてもC棟跡地利用にしても金属団地の未来のことは是非青年部でも知りたい。」と青年部会員から熱い意見が出ました。これは是非開催しようという流れになり、実現することとなりました。

当日は、①カーボンニュートラル②C棟跡地利用の順で進行しました。そもそもカーボンニュートラルって何?? C棟跡地ってどこ?? そんな初歩的な内容が分からないようでは、副理事長に来ていただいているのにとっても失礼にあたるのではないかと、真面目な青年部は各テーマの班に別れて事前に勉強をすることとしました。カーボンニュートラルは、青年部会員企業が持っている資料を元に、カーボンニュートラルとは～、何故カーボンニュートラルが推進されているのか～、実際のカーボンニュートラル活動の具体例を学びました。C棟跡地利用については、C棟跡地に何が建てることができるか、どのような制限があるかなどを学びました。その中で面白かったことは、若い会員が事前にチャット gpt に質問を考えさせて持ってきたこと。素直にスゴイと思ったと同時に我々が考えた内容とチャット gpt の考える内容が意外に被っている…。これらの勉強会の内容を元にそれぞれ質問を色々させて頂きました。勉強をしていく中で薄々感じていましたが、何をやるにしても法律などの制限が多く、何でも好きに出来る訳では無く、苦勞されていることが良く分かりました。

今回、青年部としても勉強が出来たこと、組合の考えを知ることが出来て非常に有意義な時間となりました。最後に森田副理事長には貴重なお時間いただきありがとうございました。





### 交剣知愛

株式会社樋口製作所

樋口徳室

週末の朝5時。平日の朝とは違い、近所の生活音はあまりせず、鳥の囀りだけが聞こえる。私はというと未だ眠気もあるがゴソゴソと寢床から起き上がり、何と無くトイレを済ませた後、水を一杯飲み干すとダイニングの椅子に座って少しストレッチ。そして、シャワーを浴びて目を覚ます。いつものルーティン。そこから胴衣と袴に着替えて車で20分ほどかけて剣道場へと向かう。毎週10人ほどの先生方が自主的に集まり、朝稽古が行われる場所だ。参加者全員が七段・六段の高段者。そしてその中には、国体に出場される岐阜県代表の先生方もおみえである。自己研鑽という言葉通り、それぞれの先生方が健康促進と合わせて自身の心技を究めるために稽古に励んでみえる。私も剣道を志す端くれとして、稽古できる機会を探していた時にお誘いを頂きお邪魔するようになった。これが私の最近の休日の朝(早朝)の過ごし方である。

私が剣道を習い始めたのは小学校1年生の時。全国大会には出場したが、そこで活躍したなどの戦績はない。ただ高校3年生までは竹刀を振った。大学進学と共に一旦竹刀を置くのだが、高校を卒業して20年後、我が子の習い事(剣道)と一緒に私の剣道も再スタートした。ただ、もちろん主役は子供達である。「めざせ日本一」を合言葉に仕事は忙しかったが、週末など時間ができた時にはほとんど子供達と一緒に汗も涙も流した。その甲斐あって、彼らが小学生・中学生の時には二人とも全国大会に出場しメダルや賞状も頂き、高校を卒業する頃には段位は二人ともが三段を取得するまでになった。特に下の娘においては高校時代には国体5位やインターハイ個人で2年連続5位の成績を修め(全国5位ばかり・・・)、昨年大学女子日本一となった国立の強豪校からお誘いをもらい現在も奮闘中である。私とは言えば、子供達と一緒に再開した剣道修行だったが、いつしかそこで出会えた先生方や仲間達と一緒に「オジサン剣道愛好家」として2年後の七段昇段審査に向けて「マイペース修行」を継続している。

剣道には色々な教えがあるが、その一つをご紹介したい。それは「交剣知愛(こうけんちあい)」という言葉である。読んで字のごとく、「剣を交じり合わせることで感謝を知る」という意味である。剣道の稽古は一人ではできない。もっとも素振りや足さばきなど一人でできる稽古もあるが、基本的には相手と正面から対峙し互いの心技体の変化から生まれる打突の機会を創造するのが稽古である。つまり相手が居てくれるからこそ、その機会に出会える。何でもかんでも自分勝手に打てば良いというものではない。よく「礼に始まり、礼に終わる」というが、これもその類の教えと私は理解している。道場があるからこそ稽古ができる。指導者がいてくださるからこそ指導を受けることができる。生徒が居てくれるからこそ、指導をすることができる。そして、相手が居てくれるからこそ、自分の強さ弱さも相手が教えてくれる。打っても打たれても感謝。そういう意味では、剣道は「道」という字が付くだけあって、人の生き方を教えてくれる。仕事を通して出会う人も家族も友人もみんなが居てくれるから喜怒哀楽の人生を楽しむことができる。一人で生きていたらそんな機会に遭遇する事も実感する事もない・・・・・・と、偉そうな事を言いながら今日も「自分が打てた!相手に打たれた!」だけで一喜一憂している未熟者の私がここにいる。まだまだ修行が足りない。(苦笑)



# 組合カーボンニュートラルとは? ②

先月からの続きです。2回行った委員会議事録の要約を掲載します。

### ⑤第1回カーボンニュートラル委員会 令和5年3月8日

冒頭、委員長が委員会の目的について説明し、その後議事に入った。

#### 委員長：

組合からカーボンニュートラルの取組みについて、出来ないでは無くやることを検討しなければならない時期にきた。国も県もGX推進のため猛烈に投資している状況、組合でも補助金を利用して設備投資ができるのではないかな。

#### A委員：

現状では太陽光がないと仕事をとれないわけではないが宣伝効果がある。大きなスピードでカーボンニュートラルが進んでいるわけではないためモニターに電気使用量、二酸化炭素排出量、削減量を表示するだけでも取組みとしては認められる。もしくは認証取得を目指して取り組んでいくのがよいのでは。認証があれば補助金もとりやすくなる。

#### B委員：

太陽光については各企業がのせるのか、事業として組合がのせるのかを決めることが必要。それとも水素ステーションや充電スタンドを設置することも十分にカーボンニュートラルの取組となるし宣伝効果もある。

#### C委員：

リサイクル推進も方法になる。製品を高炉なのか電気炉なのか自社だけでなく取引先に紹介することでもいい。カーボンを打ち消すような企業の支援・誘致もいい宣伝になる。コンセプトベースで将来をふまえて身軽な方がいい、最適化していっただけでも目標を達成していくことができるため枠組みを作って提案していく。

### ⑥第2回カーボンニュートラル委員会 令和5年5月29日

委員長の挨拶の後、本日講師としてご出席の岐阜県環境生活部 脱炭素社会推進課温暖化・気候変動対策係 課長補佐兼係長の山岸恭輔氏と主任技師の松浦絵美氏より岐阜県の脱炭素に向けた取り組みと温室効果ガス排出削減計画等評価制度について説明がされ、各委員からの所属企業の脱炭素に向けた取り組み等について意見が述べられた。

#### 委員長：

弊社は屋根が耐震基準を満たしていないため太陽光パネルは設置できない。照明のLED化はしたが、他をどう取り組んでいったらよいかははっきりしない。現在客先からの要求は無いが、業種によっては、これから要求がでてくるのではとの不安がある。金属団地は特高の関係で現状太陽光パネルを設置できないが、組合員がそれを知らずに太陽光パネルを設置しようとして止めたケースがある。個別の企業では、県の補助制度や評価制度のメリットが伝わりにくいため、考えあぐねている状態。組合としての取り組みはさらにはっきりしない。組合会館だけ再エネを利用しても、組合員にメリットがあるのかと考えると、取り組みにくい。

**A委員：**

弊社では照明のLED化はしたが、今後やれるとしたら電気を多く使うレーザー加工機を高効率化のものに変えていく位か。効率の良い空調設備に交換したとしても、建物自体が古いため意味が無い。取引先との話でカーボンニュートラルは出てきているが、できていないからといってペナルティを掛けられるということはない。アンケートや取り組み状況の調査が回ってくるようにはなった。脱炭素だけではなくSDGsといったものへの対応が多くなり、社会的意義はわかるが、当社規模の会社ではコスト的に厳しい。

**B委員：**

弊社は2010にエコアクション21を取得、以後トラックのハイブリット化⇒外部委託、フォークリフトはエンジンから全てバッテリーに交換、全工場LED化、事務所のエアコンを全て交換、換気扇や打ち水効果狙いで工場の屋根に散水、水の使用率削減のため井戸水にまでメーター設置、そこまでやっても、二酸化炭素を24～25%しか削減できなかったことを考えると、48%削減は無理な数字。特別高圧に関する規制も含めた国の各種規制のルールの変更が無い限り、これ以上の削減達成はできないと思う。組合発信で規制緩和を訴える、岐阜県独自で規制緩和に通じる条例を設けてもらえればありがたい。

**C委員：**

弊社はSDGs認証取得しCO<sub>2</sub>の排出量も掴み目標も設定し、金属団地内では特高の関係で設置できない太陽光パネルもC国では設置しているが、事務所の電気を太陽光でまかなえる程度で、動力全体を太陽光でまかなえることはできないため、抜本的には難しい。顧客からの要求はあるため、スコープ1と2はやっているよというパフォーマンス程度のイメージ。顧客がターゲットとしているスコープ3に対しては、一緒にやっていきますということは言っているが、現場ではCO<sub>2</sub>は下がるがコストは上がるという議論になり停滞している状況。直近では値上げといったことの方が経営インパクト的に強く、CO<sub>2</sub>に関しての議論よりも多くなっている。

団地としては各社の事情もあり、やる、やらないをターゲットにして議論すると話が停滞すると思うので、個人的には、組合事務所だけでもやって、やろうとしているという宣言だけでいいのではないかと、各社はそれぞれで頑張りますと言う位しかできないのではないかと。

**岐阜県：**

電気の排出を少しでも減らすまたはキープする努力をできる範囲でしていただきたい。

設備の入れ替えによる省エネだけでなく、県の支援にある専門家派遣を利用してコンプレッサーのエアリークチェックや空調機の室外機設置場所の再検討等、メンテナンスによる省エネも考えていただければと考える。同時に県の評価制度も利用していただき、事業者のメリットを見出して省エネに繋げていていただきたい。

講師2名が退室後、委員による意見交換が行われた。

- ・カーボンオフセットに取り組んではどうなのか
  - ・県の施策内では、組合でできることは啓蒙活動以外にはないように思えるが
  - ・特高設備に太陽光発電向けの先行投資の形となるが、逆流防止の設備を設置してはどうか
- 等々、様々な意見が出てきましたが…

続く

## “終活” 時代の流れと価値の変化

昨年の秋、先代会長の13回忌を行った。亡くなる5年くらい前から、

「自分がいろんな思いをもって買った何点もの“絵”だから、自分の記憶と感覚が残っている間に、世の中の流れや価値の変化を感じながら自分で処分しなさいよ!」

「私は“絵”はまったく興味が無いし、価値も分からないから親父が死んだら適当に売却しちゃうよ!」

何度も、口が酸っぱくなるくらい言っていたが、結局、亡くなるまで一点の“絵”も手放すこと無く逝ってしまい、今は全部箱に入れ、わが家の押し入れに入ったまま。

昨年末、私も72歳になり、そろそろ断捨離を始めようと思い立ったのは、親父に言っていた《自分がいろんな思いをもって買った何点もの物だから、自分の記憶と感覚が残っている間に、世の中の流れや価値の変化を感じながら自分で処分しよう》だった。

対象物は、土地、家、時計、オーディオ・セット、ゴルフクラブ、そして“絵”か。

私が死んだ時の全財産は、銀行の預金通帳の最終行の数字だけで良いと思っているから。

自分が生きていた時に何を考え、その時々 to 欲しいと思った最善の物を手に入れ、もう使わなくなった時に、その流れや変化を懐かしみ、ありがたいの気持ちを込め、手放すこと。キザな言い方をすれば、自分の人生のひとこまひとこまを思い出しながら。

土地・・・43年前に岐阜の加納から引っ越して来た。おがせ街道を東に進んで行く程に街灯も無くなり、どんどん暗くなっていく。助手席の家内が「こんな暗い所に住むの?」と心細げに心配したものです。

それから40数年。市は、町は、住宅団地はとても住み易い良い街になったと実感している。だから23年前に、同じ団地内に新築、移動し、土地は昨年、隣家の方にお譲りした。喜んで下されば嬉しい!

家・・・結婚20年を過ぎたら、私名義の家を生前贈与して、家内名義に変えるのに、とても大きな額の基礎控除ができ、贈与税はとても少ない額で済ませることが出来る。来年の春、結婚50年を迎えるにあたって、この税制処置を使おうと思っている。

同い年夫婦だから、間違いなく家内の方が長生きすると思う。なぜなら、毎年、健康保険の利用明細を見ても、私はハートセンター、内科、眼科、歯科、整形と一杯なのに、家内はまったくありませんから。最後は、笑って、家で死ぬのが最高だと思う。

時計・・・いろいろな節目節目に、そのメモリーとして購入した腕時計。30年以上前に買った時計から、同い年夫婦の我々の70歳、古希の祝いでのペア・ウォッチまで13個。でも、若い時に買った時計は、ゴテゴテして分厚く、大きく、重い。残りの人生15年で使うチャンスがあるとは余り思えない。デザインが古めかしくなった時計。手巻きで、毎朝巻き上げるのが面倒になってしまった時計。

全部自分の勝手な理屈ですが、「だから良いんだ!」と言ってくれる人が何処かにいるか



も知れない。7個を買い取り業者の方に引き取って頂きました。私が希望・予想していたより、はるかに高額で。買って下さった次の世代の人達が喜んで使ってくれます様に祈ってます！

オーディオ・・・家を新築した際、ちょっと無理をしてリスニング・ルームを作り、プリアンプ、パワーアンプ、プレーヤー、スピーカーはもとより、ケーブル類まで懲りました。LPが400枚、CDが1,000枚くらいあると思う。部屋を作った当初は、毎日夕食後、2～3時間は閉じこもって聴いていたのが、今ではほとんどご無沙汰。もう数年、たまに思い出して聴いている程度になってしまった。

購入したオーディオ屋さんに、私が死んだらすべてを買い取って頂くように頼んであります。オーディオのハードからLP・CDのソフトまで全部一緒にです。今、特に、再びLPブームとか？ 年月を大いに感じている。ちなみにジャンルはクラシックです。

ゴルフクラブ・・・70歳のメモリーとして、マジスティというクラブを買いました。

「金額が金額だから、一生使うぞ！」と、周りのゴルフ仲間全員に断言したのですが、3年経ち、正直飽きました。飛距離も、打感も、当然見てくれもまったく問題無いんです。

問題があるとしたら、下取りをしてもらえないんです。余程の低額なら可能性はあるけれど買い希望がほとんど無い、とのこと。市場原理から言っても当然。売り手があっても買い手がなければ商談は成立しない。

どんな金額で買って下さる人が現れるか、ただひたすら待つだけの現在です。当てが外れた大きな経験になりました。

“絵”・・・小学生の時から、図画工作の通知表はいつも“3”。全く興味が無いし、価値が分からないので、今考えているのは、親父が購入した画廊さんに来て頂き、買い取りを依頼しようか、と。ただ、画廊さんも廃業されたり倒産したり、とのこと。“絵”は、やはり難しいのだろうな、と思うばかりです。

親父に言っていた通り、適当に売却しちゃおうと考えています。

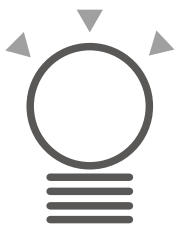
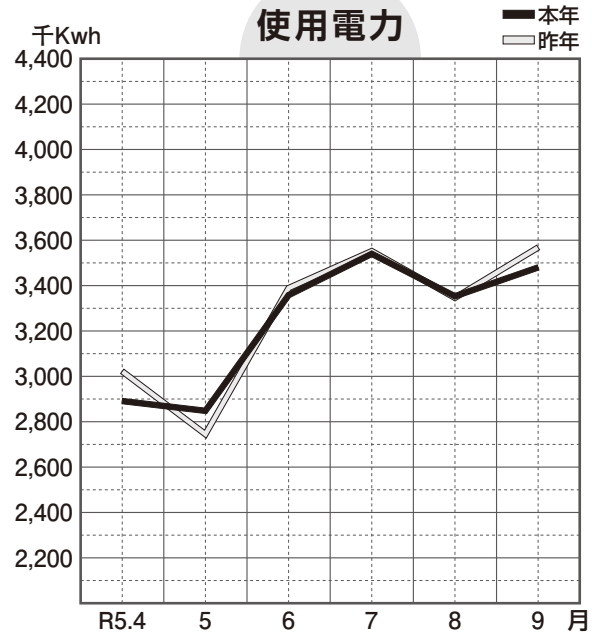
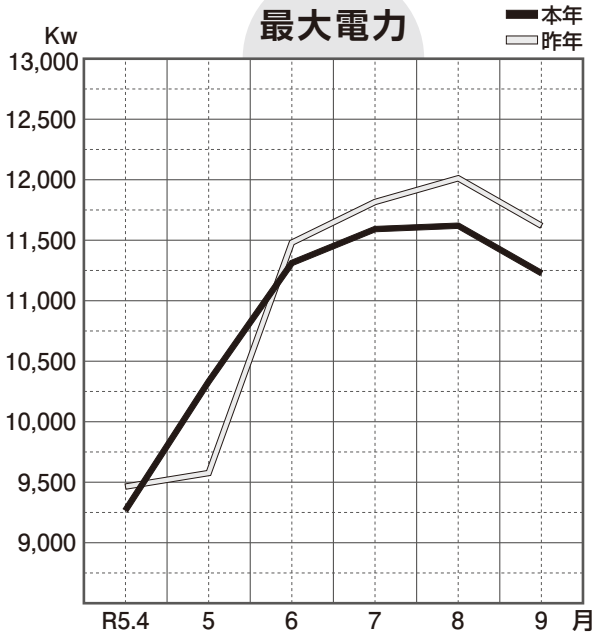
人生、最後まで、明るく・楽しく・元気よく！

閑話休題



## お知らせ

# 令和5年9月分電力使用状況



## 電気は正しく使いましょう!!

### 電気工作物の取り組み方について

- ・ 安全性
- ・ 安定供給
- ・ 環境適合

以上のバランスが必要となります。

今後、起こりうる大規模地震・線状降水帯に備え、人命安全・事業継続の点から設備の減災対策や復旧対応できる人材の確保が求められるでしょう。

環境が著しく変化した昨今組合員様におかれましては、電力の安定供給を維持するためにも自然災害に備えた設備対応、老朽化する受電設備に対し劣化兆候をとらえ故障する前に補修・延命化・更新することにより供給支障を未然に防止する対策が必要です。

# 行事予定

2023 **10** October

<b>16</b> 月	月例会・役員会
<b>17</b> 火	新入社員フォローアップ研修(～18日)
<b>18</b> 水	
<b>19</b> 木	
<b>20</b> 金	
<b>21</b> 土	『組合休日』
<b>22</b> 日	
<b>23</b> 月	
<b>24</b> 火	
<b>25</b> 水	編集委員会
<b>26</b> 木	
<b>27</b> 金	
<b>28</b> 土	団地G(青年部合同) 『組合休日』
<b>29</b> 日	
<b>30</b> 月	
<b>31</b> 火	

2023 **11** November

<b>1</b> 水	
<b>2</b> 木	金融委員会
<b>3</b> 金	『組合休日』 『文化の日』
<b>4</b> 土	『組合休日』
<b>5</b> 日	
<b>6</b> 月	
<b>7</b> 火	
<b>8</b> 水	金山神社祭典及び通常総会
<b>9</b> 木	
<b>10</b> 金	
<b>11</b> 土	『組合休日』
<b>12</b> 日	
<b>13</b> 月	
<b>14</b> 火	
<b>15</b> 水	

## ■ 11月の行事予定

11月17日(金) 代表者会議

11月20日(月) 月例会(11:30～食事、12:00～講演会)、役員会(13:10～)

## ■ 9月度金属団地ゴルフ会

9月26日(日) 関ヶ原カントリークラブ

優勝 森田浩明(森田木型) 2位 鈴木純一(豊菱製作所) 3位 鳥山 仁(共和鑄造所)



# G-MECCA

Gifu Metal Engineering Community Cooperative Association

<http://www.g-mecca.jp>

